

NPO法人日本平成村通信

No.222 発行:NPO 法人日本平成村 【Instagram】nihonheiseimura 【ホームページ】nihonheiseimura.org
 【Mail】npo-heisei@ccn.aitai.ne.jp TEL:0575-49-2855 FAX:0575-49-3735



▲川島京子さん画

学センのおばけやしき 2025 を開催しました



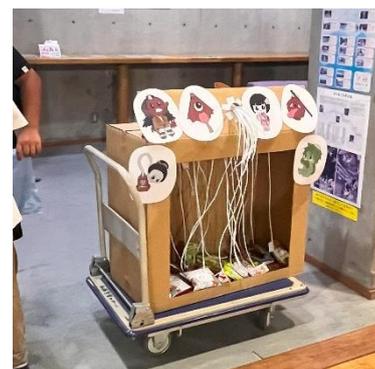
7月26日(土)、武儀生涯学習センターで「学センのおばけやしき 2025」を開催しました。

武儀地域内外から、友達や家族連れなどおよそ100名の方が参加され想定以上の盛り上がりとなりました。

参加者は会場マップと懐中電灯を持って、武儀生涯学習センターの様々な部屋に隠された「勇気の証」である石を集めてまわり、最後に参加賞を受け取りました。また、サメ釣りのミニゲームも楽しみました。



▲会場内にはおばけ役やトラップ、BGMなどの仕掛けがいっぱい



▲サメ釣り

引いた紐に繋がっている景品がもらえる



第8回 津保川花火大会 開催

8月15日(金)、第8回津保川花火大会が開催されました。

19時30分から富之保の新栗野橋上流の津保川河畔で打ち上げ花火が始まり、ミュージックスターメインやメッセージ花火、スターメインなどが観客を魅了しました。

翌日、有志による会場近隣の清掃活動が行われました。ご協力いただき、ありがとうございました。

また、武儀生涯学習センターでは花火大会に合わせて夏祭りが開催されました。

関連記事 3ページ

自治会武儀支部あれこれ

みんなの目で不法投棄阻止を！

今年2月～3月にかけて雁首礼や轡野の谷に、引っ越しゴミや建築資材が捨てられているのを、清潔なまちづくり推進委員さんがパトロール中に発見。ボランティア仲間と一緒に谷から拾い上げていただきました。



雁首礼桜峠不法投棄

7月に入り、道の駅下の河原ではキャンプ場かと思うほどテントが並んでいますが、河原にはゴミが残され、子どものおむつもそのまま放置。道の駅の職員さんや近隣の方が掃除をしてくださっています。

津保川中学校のグラウンドの南側は、隠れ家的な川遊びスポットとなっています。河原には焚火の跡とゴミが放置され、中学校のグラウンド横にはバーベキューゴミが散乱。トイレの跡まで…。ここも川を愛する近所のご家族がゴミを拾ってくださっています。

武儀事務所としては夏のシーズンパトロールを強化し、看板の設置やゴミが捨てられないような環境整備に努めています。法律や条例、規則もありますが、マナーとモラルの問題です。

ゴミを捨てるのは他地域から来た人と思われまます。みなさんの厳しい目で見はりながら、美しい武儀を守っていきましょう。

武儀事務所長 中村亜由美



▲河川進入路に設置予定のポスター



津保川中学校 プール横



乳岩 県道川辺美濃線 不法投棄回収作業

「カローリング」をやってみませんか！

自治会武儀支部では、カローリングを、幅広い年代の方が参加でき、交流ができる生涯スポーツとして推奨しています。

今年からは各自治会のスポーツ部長・自治会役員を対象に、カローリングを体験していただき、地域の皆さんに広めていただきたいと、9月26日(金)午後7時から生涯学習センターで体験教室を開催します。カローリングは、武儀地域で早くから取り組んできたスポーツです。

ぜひご家族や友達と始めてみましょう。



武儀生涯学習センターにて夏祭り&盆踊りを開催しました！



▲夏祭り受付

8月15日(金)、第8回津保川花火大会に合わせて、武儀生涯学習センターで夏祭り2025が開催されました。当日は津保川中学校の生徒たちがボランティアとして参加し会場を盛り上げました。

15時から風鈴・うちわの絵付け体験、津保川中学生による出店が行われ、およそ100名の方々が楽しみました！

16時からは武儀や上之保の特産品が当たるビンゴ大会が開かれ、85名が参加。数字が読み上げられるたび、歓声や落胆の声が上がりました。

17時からは盆踊りが開催されました。今回の盆踊りは平成時代に制作された武儀町音頭を復活させようということで「平成武儀“超”音頭」と題して有志の「踊り隊」が練習を重ね、本番を迎えました。盆踊りが始まると、「踊り隊」の動きを見て子供や大人も武儀超音頭に挑戦する姿が見られ、楽しい盆踊りとなりました！



▲津保川中学生による「的あて」



▲津保川中学生による「玉あそび」



▲中庭にて行われたビンゴ大会



▲風鈴・うちわの絵付け体験

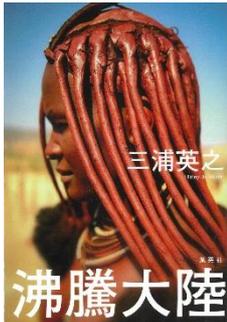


▲盆踊り「平成武儀超音頭」

むぎ図書館だより



武儀地域の方による
オススメ本紹介 VOL.2



「沸騰大陸」

著者 三浦 英之

特派員の著者が取材したアフリカの驚くべき事実の数々から厳選した34編が収録されている。私達がイメージするアフリカは広大なジャングル、砂漠、野生動物の宝庫だが、現実には目を覆うような出来事が起きていた。

ナイジェリアでの13歳少女への自爆テロ強要、ケニアでは生活のための児童婚、ウガンダでは選挙当選やビジネス成功を呼び込むため子供を生贄とする等が行われている。

バオバブの木で有名なマダガスカルでは、急激な人口増による大規模焼き畑農業の影響で25万種の野生生物が消滅の危機にある。

南アフリカでは人工繁殖したライオン等を、富裕層の白人が高い料金を払ってハンティングを行っている。かつてアパルトヘイト(人種隔離政策)を克服したはずが白人と黒人の年収差が大きいうえ、低賃金で働く不法移民も多く、殺人事件が年に約2万件、強盗事件20万件、警察が満足に機能しない国で、この数字は氷山の一角に過ぎない。

こうした出来事は日本であまり報道されないが、戦争、内紛、テロ、幼児虐待、感染症、貧困、難民、人種問題、自然破壊等が今も起きている。

著者は前書きに「人口が爆発し、人間の生と性、暴力と欲望が激しく入り乱れるアフリカは、まさしく“沸騰大陸”そのもの。むしろ、かの地のおき出しの日常の中にこそ、閉塞感に覆われた日本を生き抜くヒントのようなものが隠されているのではないか。人間の本質を真摯に見つめ直すことにより、我々は正直に—そしてより強靱に—与えられた日々を主体的に過ごすことができるのではないか。

人は人を殺し、人は人を愛する—その大いなる矛盾の鏡に映っているのは、きっと“彼ら”ではなく私たち“人間”の姿だと思う」と述べている。

あまりにも恵まれすぎる、自分勝手な理屈がまかり通る日本人に衝撃を与える1冊です。

中之保 70代 美濃羽 正

古本まつりのお知らせ

期間:9月20日(土)~9月28日(日)10時~18時

会場:武儀生涯学習センター図書館前エントランス

図書館の古本や寄贈本をご自由にお持ち帰り頂けます。

持ち帰り用の袋などはご持参ください。

休館日のお知らせ

9月1、8、22、29(月)、

16日(火)24日(水)は

休館いたします。

武儀地域市民の劇場

「そのまんま美川&坂本冬休み 爆笑ものまねコンサート」

日時:2025年11月8日(土)◎開場:午後1時45分 ◎開演:午後2時15分

会場:武儀生涯学習センター多目的ホール

チケット:【全席指定】1,500円(税込)※3歳未満入場不可

前売り開始:9月17日(水)午前9時~

販売場所:関市文化会館オンラインチケットサービス、武儀事務所ほか各地域

事務所 ※学習センターでのチケット販売はありません

